

## 社員の幸福と企業の成長を実現 ～社員の幸せを追求し、お客様に感動を届ける～

### 株式会社イマオコーポレーション

代表取締役社長 今尾 任城 氏

#### ●インタビューー

名古屋中小企業投資育成株式会社  
専務取締役 五十嵐 健二



#### 今尾 任城 氏 プロフィール

1961年 岐阜県生まれ  
1984年 当社入社  
1991年 取締役就任  
2009年 代表取締役就任  
趣味 観る将※

※観る将とは、自分自身は将棋を指さないが、テレビやインターネットでプロ棋士の対局を観戦することを楽しむ「観る将棋ファン」のこと。

#### 株式会社 イマオコーポレーション 会社概要

(2024年3月期)

本社所在地：岐阜県関市千疋2002番地  
事業内容：標準機械部品、標準治具、アルミ構造材  
製造販売、製造情報システム、ライフスタイル商品販売

設立年月：1961年3月  
売上高：5,786百万円  
従業員数：286名

**【五十嵐】**弊社とは、1983年に投資をさせて頂いてから、40年超のお付き合いになります。今尾社長は2023年に第41回 日刊工業新聞社 優秀経営者顕彰において優秀経営者賞を受賞されました。誠にありがとうございます。



<優秀経営者賞の楯>

まずは、会社の沿革や事業内容についてお聞かせ下さい。

## 《標準化思想に着目し、事業を拡大》

**【今尾】**当社は私の祖父の今尾信一が、1935年に今尾鑄造所という鑄物工場を創業したことが始まりです。その後、先代である私の父が、単なる下請けではなくメーカーを目指さなければならないということで、ハンドルやノブなどの製造を始めました。当社の技術だけではメーカーとしての限界を感じていたところ、海外の展示会で「標準化思想」に共感できる海外製品を見つけて、その国内販売を任せてもらえるようになったようです。そこからメーカー兼輸入商社というモデルが出来上がり、業態を広げ、産業機械向け標準機械部品、標準治具、アルミ構造材など数多くの機械要素部品を、自社製品のみならず海外提携先メーカーの製品も含めた幅広いラインアップで提供する現在の事業モデルになりました。



<標準機械部品>



<標準治具>



<SMARTSHIFT ロボットシステム>

加えて、1990年代に事業の多角化を進めた経緯があり、商社のノウハウを活かし、ライフスタイル商品の輸入販売ビジネスを始めました。代表的な商品が「クニルプス」の折りたたみ傘になります。



<ライフスタイル商品>

**【五十嵐】**先代が海外展示会で「標準化思想」に着目されて、事業を上げられてきたということですね。昔と今の違いはありますか。

**【今尾】**昔は単純な製品で競合も多く、付加価値を加えにくかったのですが、最近では当社の技術力を活かした付加価値の高い製品の開発に注力しています。最近の注力分野としては、AIを活用した外観検査について、自社工場での実用化研究を岐阜大学と提携しながら進めています。



<本社外観>



<美濃第1工場>



<美濃第2工場>

**【五十嵐】**社長就任当初のお話について教えてください。

**【今尾】**私が社長に就任した頃は、輸入品の売上割合が55%と大きく、自社製品の割合は45%となっていました。私は、自社製品の開発に注力していかなければ、今後生き残ることは厳しいと考えており、ものづくり体制の見直しを進めました。その結果、現在では自社製品の割合が55%と半数を超えるようになりました。

### 《期待を超える製品とサービスで お客様に感動を届けたい》

**【五十嵐】**独自性のある製品を開発するために、どのような取り組みをされているのでしょうか。

**【今尾】**マーケットインの発想で製品開発を進める場合、当社では、製品化のアイデアを持ち帰ってきた営業担当が自ら製品化に向けたプロジェクトのリーダーとなり、市場性の確認を含め、開発から製造、プロモーションまでを担う体制としています。

**【五十嵐】**その成果の一つとして開発されたのが「ワンタッチ着脱シリーズ」ですね。

**【今尾】**はい。「ワンタッチ着脱シリーズ」は、ボルトなどの代わりに使用する締結部品で、工具を使わずワンタッチで着脱操作ができます。ワンタッチ着脱に置き換えることで段取り替え等の作業時間を大幅に削減できることが、取引先様から非常に高く評価されており、当社の主力製品となっています。

当社の経営理念にあるとおり「お客様の期待を超える製品とサービスで、お客様に感動を届けたい」との精神により、マーケットイン志向で製品開発、サービス提供を進めています。



＜誰でも簡単にワンタッチで着脱可能＞

**【五十嵐】** 貴社は、WEB上で改善活動の成果を発信されていますね。どのような狙いがあるのでしょうか。

**【今尾】** 改善活動の発信が、当社に関心を持ってもらうきっかけになればと考えています。関心を持ってもらった方から要望があれば積極的に工場見学を受け入れており、年間40社程度の見学を受け入れています。工場見学は、当社にとって潜在顧客のニーズを直接お伺いすることができる貴重な場であり、製品付加価値向上のヒントを得る重要な機会と考えています。

**【五十嵐】** 話は変わって、基幹システムを自社で開発されたそうですね。

**【今尾】** 当初はオーダーメイドのシステムを使用していたものの、カスタマイズし過ぎてしまい、システム担当者でも全容が把握できないような状態になっていました。その後、当時流行っていたERPを導入したものの、結局、カスタマイズに多額の費用がかかってしまいました。そこから、基幹システムを自社開発しようという声が出て、当時、システム部長であった私の弟が責任者となり、19年をかけて自社開発しました。

基本的には、無料のソフトウェアプログラムを利用して構築していますので、改修の必要に応

じて自社内でアップデート作業を行うだけであるため、カスタマイズに多額の費用をかけることも無くなり、非常に使い勝手の良いものになりました。



＜自社開発した基幹システム＞

## 《社員とその家族の幸せを追求した経営》

**【五十嵐】** 今尾社長は「エンゲージメント経営（社員と企業の愛着心や信頼関係を重視した経営）」を掲げ、働く環境向上も含め、積極的に従業員への還元を進めています。その取り組み内容について教えてください。

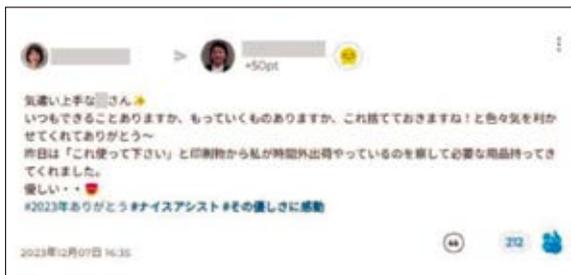
**【今尾】** 私は、社長就任以来「社員とその家族の幸せを追求する」とずっと言い続けており、当社の経営理念を策定した際もその言葉を最初に持ってきました。働きがいというのは、「働きやすさ」と「やりがい」に分解できますので、その観点から職場環境を整備しています。

働きやすさという面においては、残業、休日出勤の削減を進めて、今では残業、休日出勤が殆ど無い状態となりました。また、製造の現場では、省人化と自動化を進め、3年がかりで二交代勤務を廃止しましたが、廃止前と遜色の無い工場稼働率を維持しています。

社員から好評な制度としては、特別傷病休暇制度があります。使用されず消滅する有給休暇を最大120日までプールし、それを自身の怪我や病気に使うことができる制度であり、家族の介

護にも使えるようにしています。さらに、診断書不要の自己申告制にしたことで、利用しやすくなったという声が聞こえるようになりました。

やりがい面においては、「Unipos(ユニポス)」といういわゆるサンクスカード制度のデジタル版のサービスを導入しました。社員同士の感謝や称賛の声をポイントと一緒に送り、受け取った社員は、ポイントが貯まるとお小遣い程度のお金と交換できるような仕組みです。当社の社風と合って、非常によく利用されていまして、社員同士の感謝が可視化されることで、社員のモチベーションが上がりました。



<Unipos (ユニポス)>

**【五十嵐】**社員からの声を聞く仕組みはありますか。

**【今尾】**社員の意見を直接把握できるよう、全正社員と2年に1度は面談する機会を設けています。また、私と面談しない年には、役員と面談するようにしています。面談すると本音が出てきますので、その声に対し、しっかりとフィードバックすることが大事だと思っています。

**【五十嵐】**評価制度はどのようにされていますか。

**【今尾】**数値目標を設定すると自分の成績のためにユーザーにとって本当に良いものを提案しないことが発生しかねないので、定量評価を無くし、評判による定性評価を採用していま

す。また、昇格時の判定も部門長からの推薦としました。

人事評価制度は、精微なものを作っても上手くいかないことがあるので、全員で頑張っ利益を出し、それを社員に還元するようにしています。会社全体がチームのような感じですね。そのためには、モチベーションの高い社員が必要になってくる訳ですけれど、10年を超えて運用できているので、今の制度が当社に適していると考えています。

**【五十嵐】**今後の事業方針について教えてください。

**【今尾】**経営者としての役割は二つあると考えています。

一つは、ビジョンを掲げて、会社方針を示すことだと思います。国内のマーケット縮小が予想されているなか、当社では売上の9割が国内向けとなっています。現時点で売上の1割に留まっている輸出をもっと増やしていきたいですね。そのためには、海外向けの競争力ある製品を開発していくことが課題だと思っています。

もう一つは、社員が働きやすい環境を整えることだと思います。そのためにも、エンゲージメント経営をさらに追求していきたいですね。

**【五十嵐】**社員の幸福を重視しながら、企業を成長させていくことは容易なことではありません。貴社がその両立を実現されていることは、本当に素晴らしいことかと思います。

今後、益々の発展を心より祈念しております。本日はありがとうございました。